眼科を受診している患者さんへ

愛知医科大学病院では，下記の研究を実施しています。この研究は，愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され，研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は，対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく，研究内容の情報を公開し，研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく，個人情報の開示を希望される場合，研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は，以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は，他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫加療中の白内障手術有用性の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院　病院長　天野哲也
研究責任者	眼科学講座　講師　坪井孝太郎
研究の対象となる方	2013 年 1 月から 2024 年 6 月に、下記の情報提供機関にて網膜静脈閉塞症と診断、治療された方のうち、経過中に白内障手術を受けた患者さん 〔情報提供機関〕 神戸アイセンター病院、新潟大学、淀川キリスト教病院、富山大学、大阪医療センター、兵庫医科大学、鹿児島大学、高岡市民病院
研究期間	研究実施承認日　～　2027 年 9 月 30 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 白内障手術を契機とした RVO に伴う黄斑浮腫の増悪、再燃の可能性を調査し、その知見を基に適切な治療戦略を確立することで、患者の視機能の安定化と生活の質(QOL)の向上を目指します。 〔利用方法〕 通常の診療で得られた画像やカルテ記録をもとにエクセルや JMP 等の統計ソフトを使用して視力や中心網膜厚の変化、治療回数の解析を行います。研究内容の詳細及び具体的な研究計画に関しましては研究責任者までお問い合わせください。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし，愛知医科大学病院へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 **研究実施承認後**
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、視力、中心網膜厚、治療内容、手術所見等を収集

提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	愛知医科大学病院　坪井孝太郎
試料・情報を利用する学外の者	愛知医科大学病院　坪井孝太郎
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は，2027 年 8 月 31 日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
研究に関する問い合わせ先	愛知医科大学医学部　眼科学講座 担当者：（職名）助教　（氏名）坪井 孝太郎 〒480-1195　愛知県長久手市岩作雁又１番地１ 電話 0561-62-3311（内線 22181） 淀川キリスト教病院　眼科 担当者：（職名）医員　（氏名）上江田　基宏 〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-50 電話：固定電話から 0120-364-489　携帯電話から 0570-003-489 ※平日 9：00～17：00 （土日祝除く）